

練馬区地域福祉計画推進委員会

権利擁護部会

次期地域福祉計画の権利擁護に関する
施策の方向性について 意見まとめ（たたき台）

令和6年7月

権利擁護が必要な方への支援体制を充実する

検討にあたって区から提示された重点取組項目

- 1 成年後見制度の利用を支援する
- 2 法人後見や市民後見人等の活用を推進する
- 3 権利擁護に関連する支援事業を充実する

意見まとめ

- 1 今後見込まれる認知症高齢者の増加に対応するためには、中核機関の体制・機能を強化し、成年後見制度利用促進を図る必要がある。
- 2 民法改正に適切に対応できるよう中核機関の強化が必要である。
- 3 検討支援会議やねりま成年後見ネットワーク連絡会を通じて地域連携ネットワークを強化し、より効果的な支援につなげていく必要がある。
- 4 成年後見制度を安心して利用できるよう、後見人と支援者、家族等がチームで本人を支える体制が必要である。
- 5 後見人となる専門職団体以外の法人後見や市民後見人の養成、活用が重要である。
- 6 多くのニーズに対応するためには、身元保証や金銭管理等の成年後見制度以外の権利擁護に関する取組を検討する必要がある。

【成年後見制度の利用支援】

国の法制審議会において、成年後見制度の期間制や後見人等の交代を可能とする仕組みなどが検討されており、制度利用者が増加することが想定されることから、中核機関の強化を図る必要がある。

成年後見制度の利用を関係機関が十分に理解し、連携して権利擁護が必要な方を適切に支援していく必要がある。

中核機関が、後見人候補者のマッチングや受任後のモニタリング、後見終了までを一元的に管理していくために、組織として十分に活動できるような環境整備が必要である。

成年後見制度の利用をためらう背景には、後見人が一人ですべて判断してしまうということへの不安もあると思う。金銭管理は後見人が行うとしても、その他の身上保護に関することは、家族・支援者・後見人がチームとして本人を支える体制が必要である。【別紙参照】

成年後見検討支援会議やねりま成年後見ネットワーク連絡会をより効果的な場にしてほしい。

成年後見制度は、権利擁護のための最後の砦という考え方が必要である。後見人等の負担軽減となる報酬費用助成制度等は評価できる。

【法人後見や市民後見人等の活用推進】

専門職の担い手は減少しており、利用者の増加で担い手不足に拍車がかかるため、法人後見と市民後見は喫緊課題である。

団体によって事情が異なるため、各団体から意見を挙げてもらうことを検討し実態に合った支援につなげて欲しい。

市民後見人候補者登録を増やすためには、権利擁護や市民後見人の活動への理解をさらに促していく必要がある。

【権利擁護に関連する支援事業の充実】

成年後見制度は全体のカバーするものではない。多くのニーズを解消するために成年後見以外の方法を考える必要がある。

金銭管理などは自分でできるが、書類の管理や必要な手続きなどを行うことに困難を感じている場合、現在の制度ではサポートできる仕組みがない。将来の不安への対応も必要だが、現に困っていることについて、地域福祉権利擁護事業などが対象外の方の日常生活をサポートする仕組みが必要だと感じる。

後見人は医療同意も身元保証はできないが、ニーズは大きい。今後、何とかしようとする動きがあるが、そうしたテーマを区民と一緒に考えることも大切になる。終活について、身元保証に関する相談は対応が難しいと感じるが、希望する方は多い。

権利擁護が必要な方への支援を充実するためには、支援に携わる中核機関や地域包括支援センター職員などの一人ひとりのレベルアップを図る必要がある。段階的な研修課程を設定して人材を育成し、その人材が権利擁護を行っていけるような体制整備を望む。

【地域福祉計画全体への意見】 **推進委員会で集約します。**

世帯としてみることが大事であり、単独で解決できないケースを様々な機関と連携し、世帯を応援していくための多機関連携が必要になる。

地域では、高齢化や家族の形態の変化などにより昔のような近隣での支え合いが困難な状況の中で、どのようにして地域のネットワークを作るかが課題だと感じる。

声が出せない人や状況をキャッチするため、行政から積極的にアプローチしていく。それが充実すれば、色々な課題が解決する。

人口減少社会の中、ICTを活用しながら合理化できることは進めていく必要があり、利用者を置いてきぼりにしないよう、現場の意見を把握しながら進めることが必要である。

参考資料

権利擁護部会員名簿

	区分	氏名	フリガナ	所属団体等
1	学識経験者	飯村 史恵 (部会長)	イムラ ミエ	立教大学コミュニティ福祉学部教授
2	専門職団体	瀬谷 ひろみ	セ ヲミ	東京弁護士会
3	〃	上山 浩司	ウエヤマ コウジ	公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート 東京支部 支部長
4	〃	石川 康雄	イシカワ ヤスオ	公益社団法人 東京社会福祉士会権利擁護センター ぱあとなあ東京
5	福祉関係団体	柿島 香也子	カキシマ カコ	特定非営利活動法人 認知症サポートセンター・ねりま
6	〃	横井 紀子	ヨコイ リコ	練馬手をつなぐ親の会 副会長
7	〃	轡田 英夫	ヅツタ ヒデオ	特定非営利活動法人 練馬精神保健福祉会
8	〃	酒井 玲子	サカイ レイコ	特定非営利活動法人 成年後見推進ネットこれから 理事長
9	社会福祉協議会	佐藤 修男	サウ シュウオ	練馬区社会福祉協議会

権利擁護部会 開催経過

回	開催日	検討項目
第1回	令和6年6月12日	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉計画取組状況報告について ● 地域福祉に関する国・都の動向について ● 次期練馬区地域福祉計画の策定について ● 意見交換 (1)次期練馬区地域福祉計画の体系(案)について (2)施策の方向性(案)について
第2回	令和6年7月11日	推進委員会への報告について